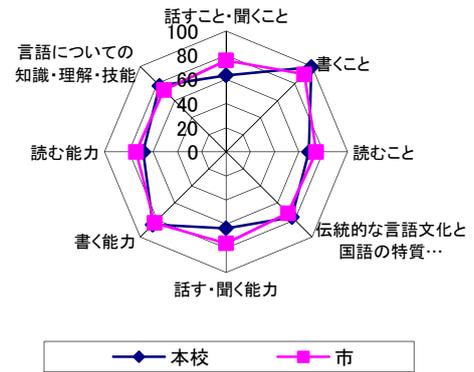


宇都宮市立上河内東小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	63.4	75.9	72.1
	書くこと	99.3	91.0	79.2
	読むこと	68.2	74.1	71.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.6	72.0	73.0
観点別	話す・聞く能力	63.4	75.9	72.1
	書く能力	85.4	83.3	72.2
	読む能力	68.2	74.1	71.1
	言語についての知識・理解・技能	77.5	72.5	72.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	●平均正答率は、市の平均よりも12.5ポイント下回った。話の内容の聞き取りは、市の平均を上回っているが、司会者の役割を理解して、立場や意図を明確にした話し合いにおける選択及び記述問題の正答率が市の平均を下回った。	●話す・聞くの学習の際に、司会者の役割を確認したり、より多くの児童に司会の役割を経験させたりして、司会者の役割を、具体的な言葉を指導しながら、体験的に理解できるようにする。
書くこと	○平均正答率は、市の平均よりも8.3ポイント上回った。指定された長さで文章を書くこと、自分の意見とその理由を区別して書くことは、全員できていた。2段落形式の書き方もほぼ全員できたが、指導が必要な児童もいた。	●制限された字数で書くことや内容についての指定を意識して書くことはできるようになってきたが、段落の構成についての指導を改めて行っていく。
読むこと	●平均正答率は、市の平均を5.9ポイント下回った。物語の登場人物の心情を読み取る設問の正答率は市を上回ったが、登場人物の様子を読み取ったり、叙述を味わいながら読み取ったりする設問の正答率は市を下回った。説明文では、内容を的確に読み取る設問の正答率は、市を上回ったが、文と文の相互関係の読み取り及び目的や必要に応じた文章の読み取りの設問の正答率が市より下回った。	●これまで以上に読書活動を奨励していく。物語文では、登場人物の心情とともに様子も同時に押さえて指導するように努めていく。説明文では、読み方のポイントを指導するとともに、文章同士のつながりや段落同士の関係を解説したり指導したりしていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	●平均正答率は、市の平均を4.6ポイント上回った。漢字の読みや三字の熟語の構成、俳句についての設問は高い正答率だった。「評価」の漢字の書き、敬語の使い方の正答率が低かった。	●漢字をしっかり覚えられるよう、練習や小テストなどを行い、習熟を図る。敬語については、尊敬語と謙譲語の使い方の違いの理解を図り、日常生活でも実践できるように支援・指導を行っていく。